

(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 15農業水産業振興費

◎農業振興の経費

市民農園事業

産業振興課

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興: 農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【事業の内容】

(1) 市民農園事業

- ・大船地区市民農園施設整備として、野菜の残さ置場の清掃及び整備等を行った。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,967	2,967	2,630		337

主な支出内訳

・市民農園事業

市民農園借受報償費

2,166

市民農園外周枝払い等委託料

61

市民農園施設整備委託料

403

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-19 市民農園事業 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	351 市民農園事業							
主管課	産業振興課	関連課	道路整備課						
分野名	産業振興								
目標 (目標値)	市民生活と密着した都市農業の振興								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
	利用者数	140人	140人	140人					
運営資源 状 況	決算値	2,630千円	2,447千円	4,886千円					
	(国・県)								
	(負担金等)	1,692千円		1,704千円					
	(一般財源)	938千円	2,447千円	3,182千円					
	人員配置数	0.3人	0.3人	0.3人					
	人 件 費	2,886千円	2,862千円	2,740千円					
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	5,516千円	5,309千円	7,626千円					
	市民1人当 りの経費	31円	30円	44円					
	対象者1人 当りの経費	39,400円	37,921円	54,471円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由				妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
市民農園区画利用率	◎	目標値	100%	100%	100%	100%			
		実績値	100%	100%					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
市民農園 開園数	△	目標値	2	2	2	2			
		実績値	1	1					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	川崎市	横須賀市	鎌倉市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	相模原市	秦野市	厚木市
1年間利用料(円)	6,000	9,600	6,000	4,000	3,000	9,000	4,000	3,000	5,000
1区画あたりの㎡数	10.0	15.0	15.0	20.0	15.0	15.0	20.0	15.0	20.0
団体名	大和市	海老名市	座間市	綾瀬市					
1年間利用料(円)	5,000	7,500	5,400	4,000					
1区画あたりの㎡数	20.0	25.0	30.0	20.0					

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)二階堂市民農園用地の開園に向けての検討 (2)新たな市民農園用地の確保 (3)一般ゴミ等について、警告の看板設置 (4)大船地区の市民農園の継続使用に向けた土地所有者との調整
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)二階堂市民農園用地の開園については、中期実施計画事業において24・25年度の2か年で用地取得、25年度に整備工事を行うこととなった。 (2)市民農園の運営方法について、研修会への参加や県内他市の状況を確認した。 (3)一般ゴミ等について、警告看板の設置により、不法投棄の減少が図られた。 (4)大船地区の土地所有者と継続して調整を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (2)新たな市民農園開設に向けての検討
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (2)新たな市民農園開設に向けての検討は、事業主体は市に限らず他の運営手法も含め検討を進めていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	市民農園は、幅広い年齢層にニーズがある。また、農作業を通じて市民の農業に対する理解を深める機会となっており、このまま継続して実施していくことが望ましい。新たな適地があれば引き続き開園に向けて努力し、合わせて市民農園の運営手法についても検討する。		
担当課長氏名:	磯崎 勇次		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	市民ニーズもあり必要な施設と考えるので、今後のJAや農業者及び民間等の参入の動向なども視野に入れ、将来の方向性を検討する。		
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子